

教育委員会定例会会議録

1 日 時

平成28年9月6日(火)

開会 13時00分

閉会 14時38分

2 場 所

教育委員室

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員 前田光久委員長、森脇健夫委員、岩崎恭典委員、柏木康恵委員、
山口千代己教育長

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 山口千代己(再掲)

副教育長 木平芳定、次長(教職員担当) 浅井雅之、

次長(学校教育担当) 山口颯、次長(育成支援・社会教育担当) 中嶋中、

次長(研修担当) 中田雅喜

教育総務課 課長 長崎敬之

教職員課 課長 小見山幸弘、班長 加藤真也、班長 山北正也、

班長 岡村芳成、主幹 奥山充人、主査 水谷匡利、主査 中西祐司
福利・給与課 課長 上野公民

高校教育課 課長 長谷川敦子、班長 萬井洋、主幹 杉阪英則

特別支援教育課 課長 森井博之、課長補佐兼班長 早津俊一、
主幹 谷口峻隆、充指導主事 須川豊

保健体育課 課長 野垣内靖、充指導主事 後藤大介、充指導主事 増田和史

社会教育・文化財保護課 参事兼課長 辻善典、班長 伊藤裕偉

研修推進課 課長 大川暢彦、班長 荻田弘樹

5 議案件名及び採択の結果

件 名	審議結果
議案第25号 職員の懲戒処分について	原案可決
議案第26号 専決処分の承認について(人事関係)	原案可決
議案第27号 三重県文化財保護審議会委員の任命について	原案可決

6 報告題件名

件 名

- 報告1 平成29年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について
- 報告2 平成29年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について
- 報告3 平成29年度使用県立特別支援学校教科書の採択について
- 報告4 議会の議決すべき事件以外の契約等について
- 報告5 平成28年度全国高等学校総合体育大会等の結果について
- 報告6 平成28年度三重県中学校総合体育大会の結果について
- 報告7 第38回東海中学校総合体育大会の結果について
- 報告8 平成28年度全国中学校体育大会の結果について

7 審議の概要

・開会宣言

前田光久委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（平成28年8月18日開催）の審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名人の指名

柏木委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第25号及び議案第27号は人事に関する案件であるため、非公開で審議することを決定する。

会議の進行は、非公開の議案第25号及び議案第27号を審議した後、公開の議案第26号を審議し、公開の報告1から報告8の報告を受ける順番とすることを決定する。

・審議事項

議案第25号 職員の懲戒処分について（非公開）

教職員課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第27号 三重県文化財保護審議会委員の任命について（非公開）

参事兼社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承

認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第26号 専決処分の承認について（人事関係）（公開）

（小見山教職員課長説明）

議案第26号 専決処分の承認について

平成28年8月29日急施を要したため、別紙のとおり市町立学校職員の人事異動を専決処分したので、これを報告し承認を求め。平成28年9月6日提出 三重県教育委員会教育長。

提案理由 市町立学校職員の人事異動について、急施を要したため三重県教育委員会教育長事務専決規則第3条第1項の規定に基づき専決処分したので、同条第2項によりこれを報告して承認を求め。

これが、この議案を提出する理由である。

1ページをご覧ください。亀山市の教育長の人事関係ということで、8月30日付で亀山市立川崎小学校の校長先生の服部裕さんが退職ということで、この方は9月1日から亀山市の教育長になられたということでございます。

その後任として、採用ですが亀山市立川崎小学校の校長に、亀山市教育委員会教育研究室長の伊達弘さんを充てるということで、8月31日付とさせていただきます。

それぞれの方の略歴について、2ページ、3ページにお付けしました。伊達さんにつきましては、27年4月から亀山市の教育委員会で教育研究室長をされている方でございます。簡単ではございますが、以上、専決処分をさせていただいた中身のご説明とさせていただきます。

【質疑】

委員長

議案第26号、よろしいですか。

【採決】

－全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。－

・審議事項

報告1 平成29年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について（公開）

（小見山教職員課長説明）

報告1 平成29年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について

平成29年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の実施状況について、別紙のとおり報告する。平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 教職員課長。

1 ページをご覧ください。2次試験関係の資料としてご準備させていただきました。2次試験の受験者の状況ということで、右端に取りまとめをさせていただきました。1次試験の合格者が1,205人に対して、2次試験を受けていただいた方が1,142人ということで、63人の欠席がございました。それぞれのところを見ていただきますと、小学校教諭では508人の中で1次合格者で2次の受験者が470人ということで、63人中、38人が小学校の欠席ということで、この部分が大きかったかと考えられます。それ以外の教科でも、それぞれ1名、2名とかありますが、例年と比べてそれほど大きな違いはありませんでした。

理由について、いろいろ自分なりに分析もしてみましたが、なかなか明確な部分ははっきりとしませんでした。今回、小学校38人の欠席の方の中で15名の方が県外の方ということで、県外と三重県とを受けていただいたうえでの欠席があったのかなというのが少し見受けられました。割合でも昨年度との比較で、県外の方の欠席の割合が増えていたということで、全部ではないんですがお電話で欠席しますと言ってご連絡いただいた方、小学校で9名おみえになりましたが、そのうち、6名の方が他県を受けるのでというお話もありましたので、そういうことも一つの要因かと考えられます。

試験につきましては、2次試験も8月31日に面接を終えることができましたので、最終合格分については、9月30日ということで、今後、作業をさせていただきます事務を進めさせていただきたいと考えています。

【質疑】

柏木委員

この1次選考試験というのは、年によって日付が違うんですか。

教職員課長

違います。

柏木委員

なので、複数の県を受けて、それで1次がみんな受かっていたら、自分の行きたい県の2次を受ける人が多いという話ですか。

教職員課長

東海地方は一緒ですが、東京の方とか違うところということで、いろんな形で受験されます。

柏木委員

分かりました。

委員長

この前も見せていただいて、試験状況、変な言い方ですが、この中で一生懸命やってみても、大半の人は落ちるんだなど、お気の毒だなどと思って。ちょっとやるせないです。何回も挑戦されるんですね。

教職員課長

特に講師を続けながらという方もおみえになりますので、その辺について見直しをして進めてきているところでございます。

委員長

ご苦労さまでした。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告2 平成29年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について (公開)

(長谷川高校教育課長説明)

報告2 平成29年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について

平成29年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項について、別紙のとおり報告する。平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長、特別支援教育課長。

今回、報告いたします実施要項は、高等学校入学者選抜及び特別支援学校入学者選考に係る事務手続き等について規定したものであり、各県立学校及び中学校は、この実施要項に則って選抜及び選考の事務を行います。本実施要項は毎年10月中旬に冊子にして、各県立学校及び中学校に配付した後、事務説明会を開催し、説明を行っています。その後、11月初旬にウェブページにて一般公開をする予定です。

お手元の左上に「報告2」とあります資料と、「別冊資料」とあります分厚い実施要項を併せてご覧ください。まず、「報告2」とある資料ですが、1ページから2ページは、主な変更点の概要について、3ページから5ページまでが新旧対照表となっております。別冊資料につきましては、表記を見直したところに破線を、日付や曜日に係る変更には実線を施しております。

なお、別冊資料の表紙の裏面にあります実施日程及び45ページから145ページまでの各高等学校別実施要項につきましては、7月の教育委員会定例会において、既にそれぞれ報告しておりますので、本日はそれらを除いた部分について報告をさせていただきます。

まず、高校教育課から三重県立高等学校入学者選抜実施要項について、説明をさせていただきます。本年度の主な変更点は2点でございます。薄いほうの「報告2」とある資料の1ページをご覧ください。1点目は、「1 名張青峰高等学校に係る部分の削除について」でございます。平成28年度に新設しました名張青峰高等学校の平成28年度入学者選抜の事務は、名張西高等学校で行いましたが、平成29年度入学者選抜事務は、名張青峰高等学校で行うことから、入学者選抜実施要項に一時的に記載した部分を削除いたしました。別冊資料の3ページ及び6ページをご覧ください。3ページと6ページの「その他」として表記している部分を削除いたしました。

次に、「報告2」の1ページにお戻りください。「2 連携型中高一貫教育に係る選抜の検査内容・選抜方法の変更について」でございます。連携型中高一貫教育に係る選抜は、飯南高等学校、南伊勢高等学校南勢校舎の2校で実施しております。この選抜は、これまで志願者が提出する学習のまとめを踏まえた面接によって選抜を行っ

てまいりましたが、中学校で身につけてきた基礎学力も含めて多面的に評価することができるよう、「各高等学校長の判断により、基礎学力検査を課すことができる」ことといたしました。このことを受けて、別冊資料の18ページの「2 検査(1)検査内容」のところに、「また、各高等学校長の判断により、基礎学力検査を課すことができる。」を追加いたしました。また、19ページの「4 選抜方法」に、「及び基礎学力検査を課す学校においては基礎学力検査の結果」を追加いたしました。

以上でございます。

あと、今回の変更ではありませんが、1点、検討していることがございます。出願書類に「男女欄」がありますが、LGBTの志願者への配慮として、現在、その整理をしているところでございます。今後、関係機関と協議・検討を重ねて、様式を平成29年度選抜から変更することになった場合には、改めて報告をさせていただきます。具体的には入学願書の性別欄で男女の別に丸を振っていたのを、記述式にするのか、無くすか、何らかの形にするかを検討しています。平成29年度選抜から実施するかどうかについては、関係の部署と検討しながら考えたいと思っております。本日のところは、このような検討を今、行っているということの報告に留めさせていただきたいと思っております。

以上が、三重県立高等学校入学者選抜実施要項についての報告でございます。

続いて、特別支援学校入学者募集要項について、報告者を替えて説明いたします。
(森井特別支援教育課長説明)

続きまして、平成29年度三重県立特別支援学校入学者募集要項について説明させていただきます。

本年度の主な変更点は、6点でございます。主には、かがやき特別支援学校の開校に伴うものです。「報告2」とある資料の1ページをご覧ください。併せて、募集要綱の146ページ、特別支援学校の募集要項のところもご覧ください。まず、「1 募集する学校及び学科」につきまして、緑ヶ丘特別支援学校と城山特別支援学校草の実分校の学校名を、かがやき特別支援学校緑ヶ丘校及び同草の実校の開校に伴い、波線のとおりに変更します。

「2 応募資格のある者」につきましては、147ページをご覧ください。表1の学校名及び志願できる区域を波線のとおり変更します。また、欄外に三重県立草の実リハビリテーションセンターが、平成29年6月に三重県立子ども心身発達医療センターとなる予定である旨を記載いたします。

「3 選考内容」につきまして、149ページの表の学校名をご覧ください。表の一番最後を波線のとおりに変更させていただきます。

「4 合格者の決定及び発表」につきましては、149ページ(7)に出身中学校長への結果通知書を交付する時間を、これも波線のとおりに明記いたします。150ページの再募集の部分も、中段にございますが、(7)の部分ですが、同様でございます。

「5 その他」につきましては、151ページをご覧ください。(5)、(6)のとおり、かがやき特別支援学校緑ヶ丘校及び草の実校の入学者選考の事務について、緑ヶ丘特別支援学校及び城山特別支援学校草の実分校で行う旨を記載しております。

「6 三重県立特別支援学校配置図」につきまして、152ページの配置図のとおり、かがやき特別支援学校の開校、それと一体整備を進めております東紀州くろしお学園本校の移転開校に伴い、位置を変更しています。

以上が、平成29年度三重県立高等学校入学者選抜実施要項及び三重県立特別支援学校入学者募集要項についての説明でございます。よろしくお願いたします。

【質疑】

委員長

よろしいですか。

教育長

なぜ特別支援学校は様式がないの。

特別支援教育課長

各学校のほうで準備をしています。

教育長

各学校によって違うのか。

特別支援教育課長

障がい種別等ございますので。

教育長

男女があるよ、この場合は。どうするのかなと思って。

特別支援教育課長

併せて検討させていただきます。

委員長

報告2は了承いたしました。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告3 平成29年度使用県立特別支援学校教科書の採択について (公開)

(森井特別支援教育課長説明)

報告3 平成29年度使用県立特別支援学校教科書の採択について

平成29年度使用県立特別支援学校教科書の採択について、別紙のとおり報告する。
平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 特別支援教育課長。

例年、9月の定例会では高校教育課と合わせて県立学校の教科書採択について報告しておりますが、本日は、特別支援学校分の報告とさせていただきます。

43ページになります。「資料1」をご覧ください。最後のところです。県立学校の教科書は、三重県立学校の管理運営に関する規則第13条により校長の内申を受け、県教育委員会が採択することとなっています。校長の内申にあたっては、各校で教科書を選定する必要があり、各学校の教科会議などで教科書を選定を行った後、外部の委員も入った校内選考委員会において協議し、校長による決裁の後、県教育委員会に内申するという流れになっています。

44ページ、「資料2」をご覧ください。最後のページです。「1 例年の使用教科書採択等の流れ」にあるように教科書採択から需要数報告への流れにつきましては、文部科学省への需要数報告期限が9月16日と定められています。これは、「3 教科書の発行に関する施行規則」にもお示ししたとおりで、このことから、例年、9月の定例会では高等学校と特別支援学校を合わせた県立学校の教科書の採択として報告をこれまでさせていただいてきました。

しかしながら、本年度は、「2 平成29年度使用教科書採択等の流れ」、「4 施行規則の一部を改正する省令」にありますように、文部科学省が高等学校用教科書発行者からの教材無償提供を踏まえて、高等学校を対象とした調査を7月下旬まで実施したことから、平成29年度用高等学校用教科書の需要数提出期限が、10月31日となりました。県立の高等学校採択の報告は、これに沿って10月の定例会で行うこととなっております。

一方、特別支援学校につきましては、小中学校の需要数の報告を、例年どおり9月16日までに終える必要があります。高等部につきましても、今回の文部科学省の調査の対象とならなかったこと、検定本の選定数自体が限られていることから、例年と同じ日程で慎重に確認作業を進めることができました。

そこで、今回の定例会では、県立特別支援学校小学部、中学部、高等部において、平成29年度に使用する教科書の採択についてご報告いたします。

1ページをご覧ください。特別支援学校では、児童生徒の障がいの種類や状態に応じて、検定本、著作本、一般図書を採択しております。検定本は、文部科学大臣の検定を経た教科用図書です。著作本は、文部科学省が著作の名義を有する、主に知的障がいのある児童生徒を対象にした教科書で「星本」と呼ばれるものです。また、一般図書は、児童生徒の実態に応じたものや、卒業後の社会生活を見据えた内容のものとなっており、絵本が中心になっています。去る7月25日の定例会では、三重県教科用図書選定審議会において、新たに追加した38点の一般図書の一部をご覧くださいたいところでありました。

1ページの表では、県立特別支援学校における平成29年度使用教科書の採択状況を、小学部、中学部、高等部に分けてお示ししてあります。採択の状況は、特別支援学校の総数で、1,973点となっております。内訳は、総合計の欄にありますように、検定本424点、著作本385点、一般図書1,164点となっております。

小学部の検定本は、一昨年、中学部の検定本は昨年、採択を終えましたので、4年間は変更がありません。ただし、平成29年度はかがやき特別支援学校あすなろ校が県立特別支援学校として開校することから、あすなろ校小学部・中学部の検定本については、新規に選定をしております。全体的にはあすなろ校以外での小学部、中学部の検定本の採択がないため、昨年度に比べると、今年度の採択件数は減っております。

採択にあたりましては、各校において教科書選考委員会を開催し、外部委員の意見を取り入れ、厳正で公正な選定が進められたものと考えております。

また、各校から提出された選定内申書に基づき、事務局で1冊ずつ選定理由について確認し、修正点については再提出を求めるなど、公正性、透明性をもって採択いたしました。

平成29年度使用県立特別支援学校教科書の採択については、以上です。よろしく
お願いします

【質疑】

委員長

ご苦労さまでした。ご意見、ご質問よろしいですか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告4 議会の議決すべき事件以外の契約等について (公開)

(大川研修推進課長説明)

報告4 議会の議決すべき事件以外の契約等について

議会の議決すべき事件以外の契約等について、別紙のとおり平成28年三重県議
会定例会9月定例会月会議へ報告するので、報告する。平成28年9月6日提出 三重
県教育委員会事務局 研修推進課長。

1ページをご覧ください。今回の議会の議決すべき事件以外の契約等についての報
告については、県が賃借人となる予定価格7千万円以上の賃貸借契約になります。詳
細は、表のとおり、コンピュータネットワーク総合研修システムの賃貸借契約で、契
約額が67,635,000円。契約先は、愛知県名古屋市の富士通リース株式会社
中部支店となります。契約期間は、平成28年8月23日の契約締結日より、平成
33年10月31日までの5年間になります。

次ページをご覧ください。今回、契約を締結いたしますコンピュータネットワーク
総合研修システムについてご説明申し上げます。「1 調達の目的」です。現在、教
職員研修で利用しているコンピュータネットワーク総合研修システム一式の賃貸借
契約期間が平成28年10月31日をもって終了するに伴い、システムの継続及び機
器の調達を含め、新たに5年間の賃貸借契約を締結するものです。

次に、「2 コンピュータネットワーク総合研修システムの概要」についてご説明
いたします。コンピュータネットワーク総合研修システムは、県内教職員の研修を円
滑に運営するためのシステムです。主だった内容につきましては、②のインターネッ
トを使って、県内教職員からの研修講座受講申し込みの処理を行い、メールにより受
講可否及び諸連絡等の一斉・個別配信を行います。

また、③の研修講座修了後に出欠管理、研修講座まとめ、アンケート集計処理等を
システム上で一括して行います。今回、新たに導入したことといたしましては、⑥の
情報の交流や管理を安心して行うため、インターネット上で送受信される情報を保護
するための仕組みを導入し、セキュリティの向上を図りました。

また(2)の①にありますように、タブレットパソコンや電子黒板を用いて学習者
とデータを送受信しながら進める学習に対応した研修が行えるようにいたしました。
今後は、子どもたちが学ぶ喜び、わかる楽しさを実感するとともに、自ら課題を発見
して、主体的・協働的に探求し、成果などを表現していくことができるよう、教職員

の授業力向上に取り組んでまいります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【質疑】

委員長

報告4について、よろしいですか。

岩崎委員

これは予定価格が7,000万円以上超えたということで、この報告になっているということですね。契約は6,700万円ほどということですね。

委員長

ほかによろしいですか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告5 平成28年度全国高等学校総合体育大会等の結果について (公開)

報告6 平成28年度三重県中学校総合体育大会の結果について (公開)

報告7 第38回東海中学校総合体育大会の結果について (公開)

報告8 平成28年度全国中学校体育大会の結果について (公開)

(野垣内保健体育課長説明)

報告5 平成28年度全国高等学校総合体育大会等の結果について

平成28年度全国高等学校総合体育大会等の結果について、別紙のとおり報告する。
平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

1ページをご覧ください。全国高等学校総合体育大会は、平成28年7月28日から8月20日まで、岡山県を中心とした中国ブロック5県と、ヨット競技の和歌山県で開催されました。7月28日、総合開会式が岡山ジップアリーナにおいて、陸上競技及びソフトテニス女子に出場する選手及び役員が参加し、盛大に開催されました。山口教育長にも参加いただきました。

主な競技結果について報告させていただきます。団体種目においては、残念ながら優勝種目はありませんでしたが、陸上競技において、男子5,000m競歩で2位、4位、男子5,000mで7位、男子3,000m障害で4位に入賞した伊賀白鳳高等学校が、学校対抗男子トラックの部で3位となりました。団体の入賞数は10種目であり、昨年と比べて3種目増となりました。

2ページをご覧ください。個人種目についてです。本県の優勝は5種目であり、昨年度に比べると8種目の減となりました。

男子ウエイトリフティング競技において、四日市工業高等学校の横山太偉雅さんがスナッチ、クリーン&ジャーク、トータルの3部門において優勝し、昨年2位だった悔しさを晴らし、見事、頂点に立ちました。

男子体操競技では、暁高等学校の首藤鴻英さんが見事に跳馬で優勝しました。また、公開競技ではありますが、女子レスリングにおいて、久居高等学校の奥野春菜さんが

52kg級において、見事、優勝し3連覇を飾りました。

なお、昨年度、個人及びスティックで優勝、今春の選抜大会でも全種目において優勝しました新体操競技の高田高等学校の堀孝輔さんは、惜しくも2位となりました。

また、ウエイトリフティング競技、亀山高等学校の柳川友章さんは、77kg級に出場し、スナッチ、クリーン&ジャークともに優勝者と同じ重量を上げましたが、体重差により惜しくも2位となり、連覇を逃しました。

個人種目のベスト8以上の入賞数は、延べ40種目で、昨年と比較すると2種目の減でした。

3ページをご覧ください。3ページには、平成28年度全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会におけるベスト8以上の結果を掲載しております。48kg級において、亀山高等学校の吉田彩奈さんが、見事3位に入賞しました。

以上で、報告を終わります。

続いて、報告6 平成28年度三重県中学校総合体育大会の結果について

平成28年度三重県中学校総合体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。
平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

お手元の資料の1ページをご覧ください。平成28年度三重県中学校総合体育大会は、7月25日から7月31日にかけて、県内各地において開催されました。資料の2ページに、団体競技の上位入賞校一覧を、また、3ページから4ページにかけては、個人種目の上位入賞者一覧を掲載しています。この大会結果により、上位入賞の団体・個人が、この後、報告いたします東海大会に出場しました。

陸上競技の県大会につきましては、10月15日、16日に四日市市の四日市中央緑地公園陸上競技場にて、駅伝競走は11月19日に鈴鹿市の鈴鹿青少年の森において、それぞれ開催を予定しています。

東海大会には、県陸上競技協会が主催する県大会の記録によって、大会出場権が与えられています。

続いて、報告7 第38回東海中学校総合体育大会の結果について

第38回東海中学校総合体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

お手元の資料の1ページをご覧ください。第38回東海中学校総合体育大会は、8月6日から8月10日にかけて、愛知県内各地において開催され、本県からは16競技に約1,200人の選手が大会に参加しました。

結果につきましては、団体の部を1ページに、個人の部の上位入賞一覧を2ページに掲載しています。団体の部では、伊賀市立大山田中学校のバレーボール男子、四日市市立西笹川中学校のハンドボール女子、志摩市立磯部中学校の相撲の3競技で優勝を収めるなど、10競技に20校が3位以内の上位入賞を果たしました。

個人の部では、陸上競技をはじめ、2競技の9種別で優勝をするなど、延べ65名が3位以内の上位入賞を果たしました。本年度は、団体競技、個人競技で昨年度を上回る入賞数となりました。また、この大会の結果により、ほとんどの団体競技は、東

海で上位3チームが全国大会への出場権を得ることになります。なお、柔道、剣道、相撲、水泳、陸上競技におきましては、県大会での優勝チームもしくは標準記録を突破した者が全国大会に出場することとなっております。

続きまして、報告8 平成28年度全国中学校体育大会の結果について

平成28年度全国中学校体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。平成28年9月6日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

お手元の資料の1ページをご覧ください。平成28年度全国中学校体育大会は、8月17日から8月25日にかけて、北信越ブロックの各県において開催され、三重県から13競技に約230名の選手が大会に参加しました。

結果につきましては、ご覧のように団体の部では、バレーボール男子で伊賀市立大山田中学校、ハンドボール女子で四日市市立西笹川中学校の2校が5位に入賞しました。個人の部では、水泳競技で四日市市立三滝中学校の谷口卓さんが100mと200m平泳ぎで、また、陸上競技で津市立一身田中学校の藤本大輝さんが走り幅跳びで優勝するなど、延べ4競技11名が8位以内の入賞を果たしました。その他の競技におきましても、全国大会という大舞台において、それぞれの持てる力を十分に発揮し、素晴らしい成績を収めていただきました。

【質疑】

委員長

コメントよろしいですか。こういうのが終わると、暑い夏も終わりだなと。ご苦労さまでした。

—全委員が本報告を了承する。—